

母のありがたみ



レース中は、母親に11匹もの保護猫の世話を頼んでいるという香川素子。「先日、お母さんのヒザの具合が悪くなつて入院したんですよね。その時は（息子の颯太の妻の金子）七海や陽太の彼女とか、総出で面倒を見てもらいました。改めてお母さんのありがたさを知つたし、いつまでも元気でいてもらわないと困るなって思いました」。いつまでも若い走りを見せる香川。その活躍を支えているのは、愛猫と最愛の母の存在だ。

保険は大事



愛猫家の選手をもう一人。西橋奈未も猫を飼っていて、最近その猫が大きな病気をしてしまったという。猫は高齢で、保険に入れなかったため、治療費は10割負担。「3か月くらいかなりのお金がかかりましたよ。保険の大切さを知りました。猫を飼ってる方に言いたい。ある程度若い時から保険には入っておいた方がいいです」と強調した。すっかり快復した猫はお母さんと一緒に自宅

警備員として、西橋に癒しを与えているそうだ。

あと2分は無理



巻頭に登場した森高一真のインタビュは、森高が翌日から伊豆キャンプを控えているため、京都から三島へ向かう新幹線の車内で行われる、はずだった。改札前で待っていると「〇分に出る新幹線に乗ってや〜」って発車2分前に電話がかかってきて、それは無理。結局、品川行きを三島に変更して途中下車。「ごめんごめん。2分じゃ無理やった？」って謝られても…。ただ、三島で合流した須藤博倫や齊藤仁からも森高の貴重なエピソードが聞けたのは大収穫。そのネタはグランプリ出場が決まった時にも…。

西山人気に乗る!?



ヤングダービー開催中、桐生でSG優勝報告会を行った土屋智則は、その直後に行われた西山貴浩・大庭元明・林恵祐の「ボンコツ会トークショー」にも飛び入りで参加。ただ、トークショー慣れた西山の爆裂トークに「西山はマジで

スゴイすわー。人気があるのが分かります。そりゃオールスターのドリムに乗れるわ」と感心しきり。「オールスターは一番縁がないSG」という土屋だが、「来年は西山のついでに僕にも投票してください。SG2回優勝しています」と、ちゃっかりアピール。昨年は直前SG（クラシック）Vでオールスター初出場を果たしたが、来年は初めてファン投票で選ばれるかも!?

プロ野球のファンです



プロ野球はセ・パとも大詰めを迎えているが、元高校球児で野球大好きな佐藤翼にどの球団のファンなのか尋ねたところ「応援している特定の球団はありません」とのこと。その理由は「いろいろな球団にポイント大好きな選手がいて、その人たちを応援していたら、一つの球団に絞れなくなっちゃう。埼玉から岡山に引越したことも影響していますね」だそう。「だから僕は全部の球団が好きです（笑）」と、優等生らしいコメントだった。

悪魔の契約

135期のリーグ戦で圧倒的な強さで期をけん引してきた宮崎



心之介。チャンプ決定戦は1号艇。勝てば歴史に名を残すことができるが、

激レアサイン



プレゼンターに馬場貴也のサイン色紙がある。これはメモリアル優勝戦の日に書いてもらったものなのだが、本来は別の企画で出す予定だった。勢いよく書き上げた馬場は、日付まで入れてくれた。企画の趣旨上、日付は不要だったので、もう一枚書いてもらったのだが、「優勝したら日付入りはレアなプレゼントになりますね」と笑っていたが、まさに有言実行。選手との接触が難しくなった昨今において、かなり

夢ある賞金



表紙を飾つた福岡泉水。この撮影を行ったのは桐生で初優勝した翌日。「まだ

貴重な一枚。奮って応募ください!

「夢みたい」と話していたが、気になるのは賞金の使い道。初優出でもあったので、1節間で得た賞金としてはもちろんキャリアハイ。それも桁が一つ違った。額面を確認すると「きゃー」と歓声を上げ、それまでは「子供におもちゃでも買ってあげようかなあ」と言っていたのが一転、「やばい、どうしよう、何でも買えちゃう」と大興奮。これこそ、本当に、夢がある仕事と言えよう。

Macour Coverage Memo

追配取材メモ